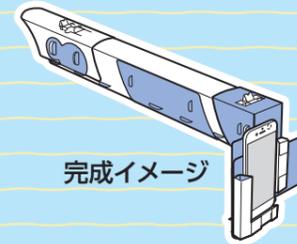


# スマホ天体望遠鏡

## 取扱説明書

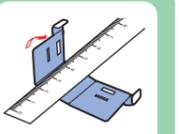
このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
このマニュアルでは、本製品の注意事項、組み立てかた、および使いかたを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。また、このマニュアルを読み終わったあとは、大切に保管しておいてください。

# スマホ天体望遠鏡の組み立てかた



### 組み立て時のポイント

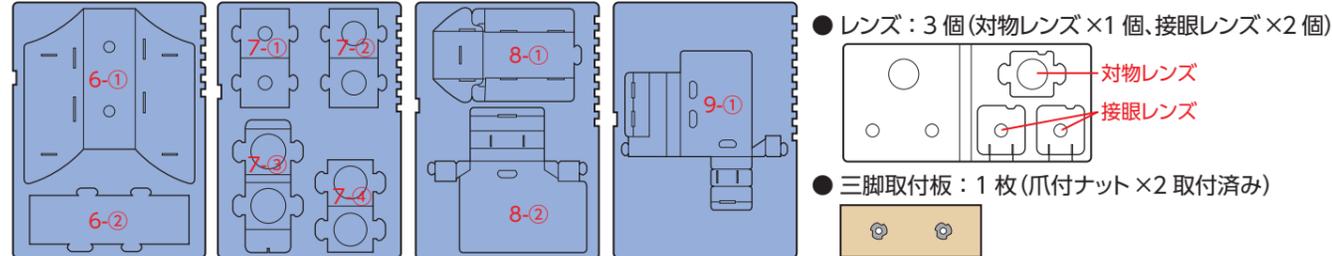
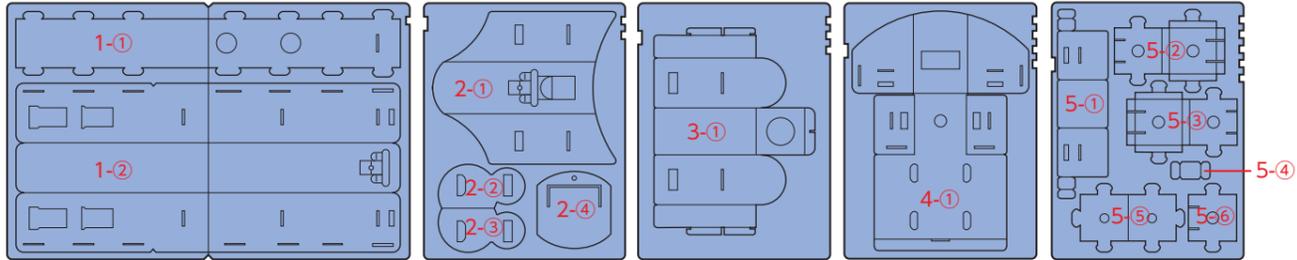
- ・はさみは別途ご用意ください。
- ・パーツを折り曲げる際は、折スジに沿って定規(または板状のもの)を当てながら曲げると折りやすくなります。
- ・白面側に折る際は、いったん黒面側に折ってから白面側に折ると、きれいに折り曲げることができます。



## パッケージ内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはメガハウス カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

- シート：9枚(大×1枚、小×8枚)



- 面ファスナー：1本(25×200mm)
- 透明シール：10枚(15×60mm)
- 取扱説明書：1枚(本書)

## 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本製品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- 本製品では太陽を観望することはできません。絶対に太陽に向けないでください。失明や発火の危険があります。
- 保管や使用の際は直射日光や反射光のあたる場所には置かないでください。レンズを使っているため、発火の危険があります。
- 保管や移動の際は必ずレンズカバーを取り付けてください。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取扱や保管場所に注意してください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 袋は梱包材ですので、開封後は廃棄してください。小さなお子様が窒息する恐れがあります。

## 使用上の注意

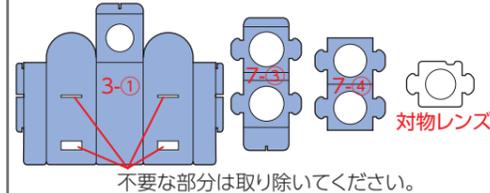
- 本製品は精密に作られています。無理な力を加えたり、落としたりすると破損するおそれがあります。
- 本製品からスマートフォン端末が落ちないように確実に保持しながらご使用ください。
- 本製品でご使用になるスマートフォン端末の破損、紛失、故障、内部データの破損等に関しては当社は一切の責任を負えないので予めご了承ください。
- ご使用になる前に対応機種かどうか公式ホームページで必ずご確認ください。
- スマートフォン端末は充電中や他の機器を取り付けた状態で使用しないでください。
- ご使用の際はプライバシーの侵害とならないようご注意ください。
- パッケージの画像と商品とは多少異なりますのでご了承ください。

＜お買い上げのお客様へ＞ 商品についてお支払いの点がございましたら、お客様相談センターまでお問い合わせください。  
**メガハウス カスタマーサポートセンター**  
〒231-0002 神奈川県横浜市中央区海岸通4-20-2 Y.T.馬車道ビル8F  
**TEL 03-4530-3150**  
●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～17時 ●電話番号をよんでお尋ねのないようご注意ください。  
E-mail [tabletsupport@megahouse.co.jp](mailto:tabletsupport@megahouse.co.jp)

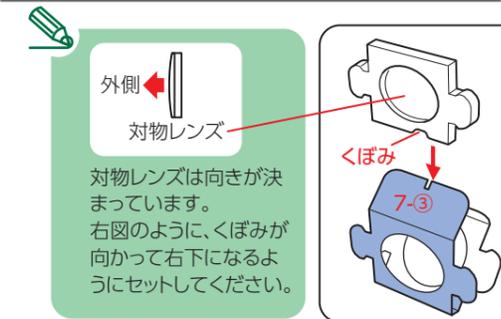
©TOCOL

## 1 対物部を組み立てる

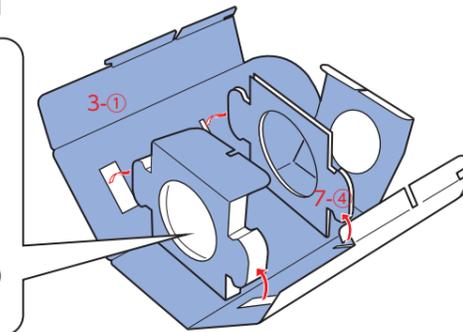
使用するパーツ



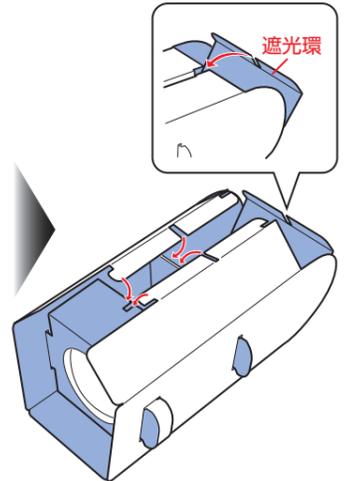
レンズが汚れないように直接手を触れたり、机などに置かないでください。レンズに指紋や汚れがついた場合は、水やレンズクリーナーなどのアルコールを含ませた布で軽く拭いてください。



1 7-3の黒面を表にして折り曲げ、対物レンズをはさみ、3-1に差し込む



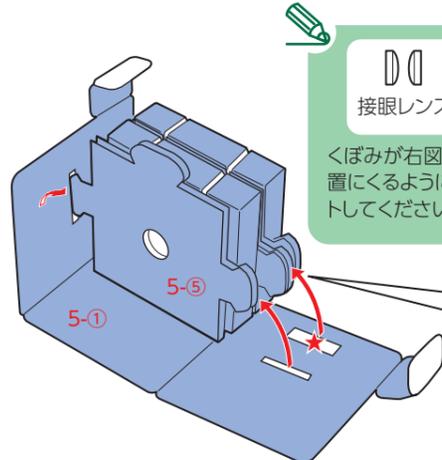
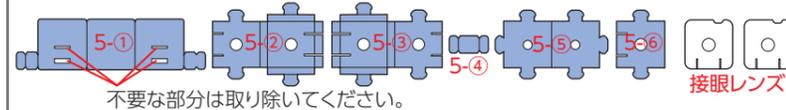
2 7-4の黒面を表にして折り曲げ、3-1に差し込む



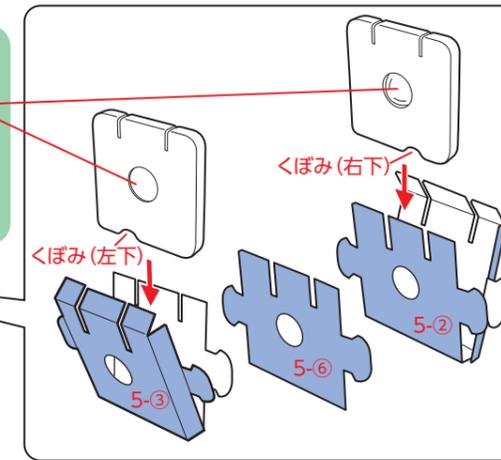
3 上面を閉じたあと、遮光環を閉じる

## 2 接眼部を組み立てる

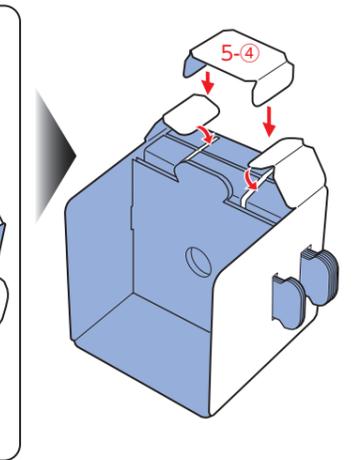
使用するパーツ



1 5-5の黒面を表にして折り曲げ、5-1に差し込む

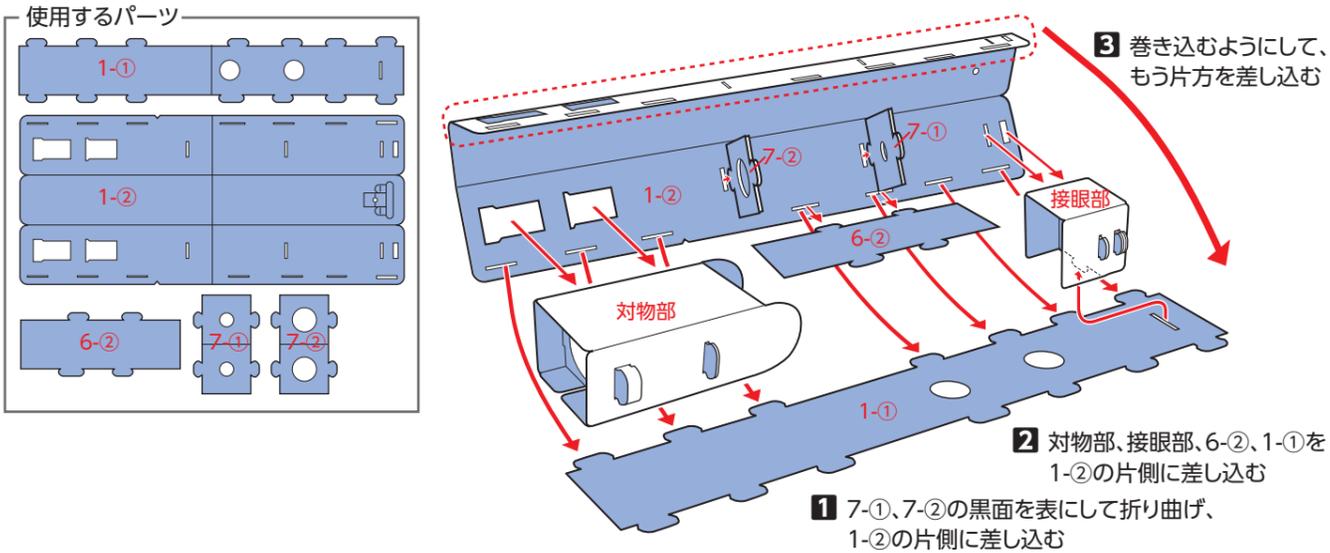


2 5-3と5-2の黒面を表にして折り曲げ、それぞれ接眼レンズをはさむ

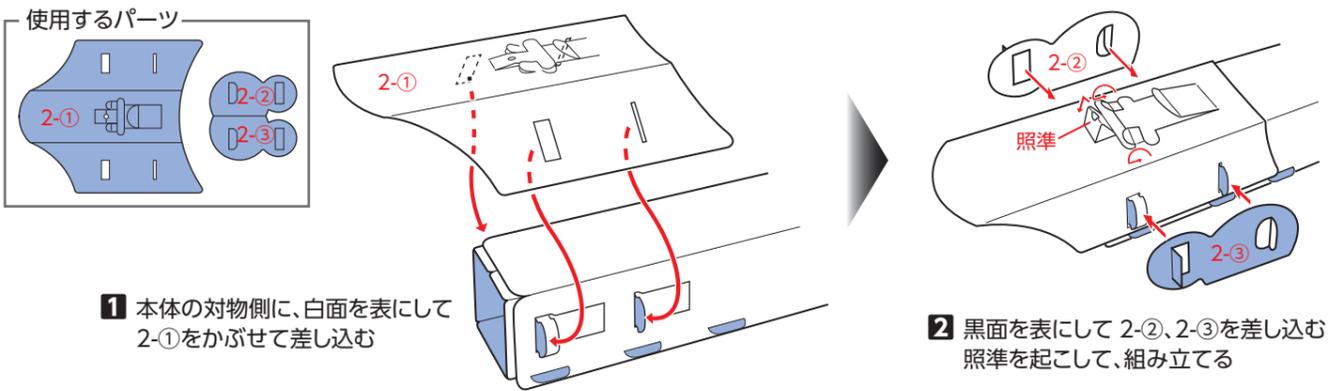


3 5-3と5-2で5-6をはさみ、5-1の★に差し込む  
4 接眼レンズの切り込みで5-1のツメを差し込み、5-4を差し込む

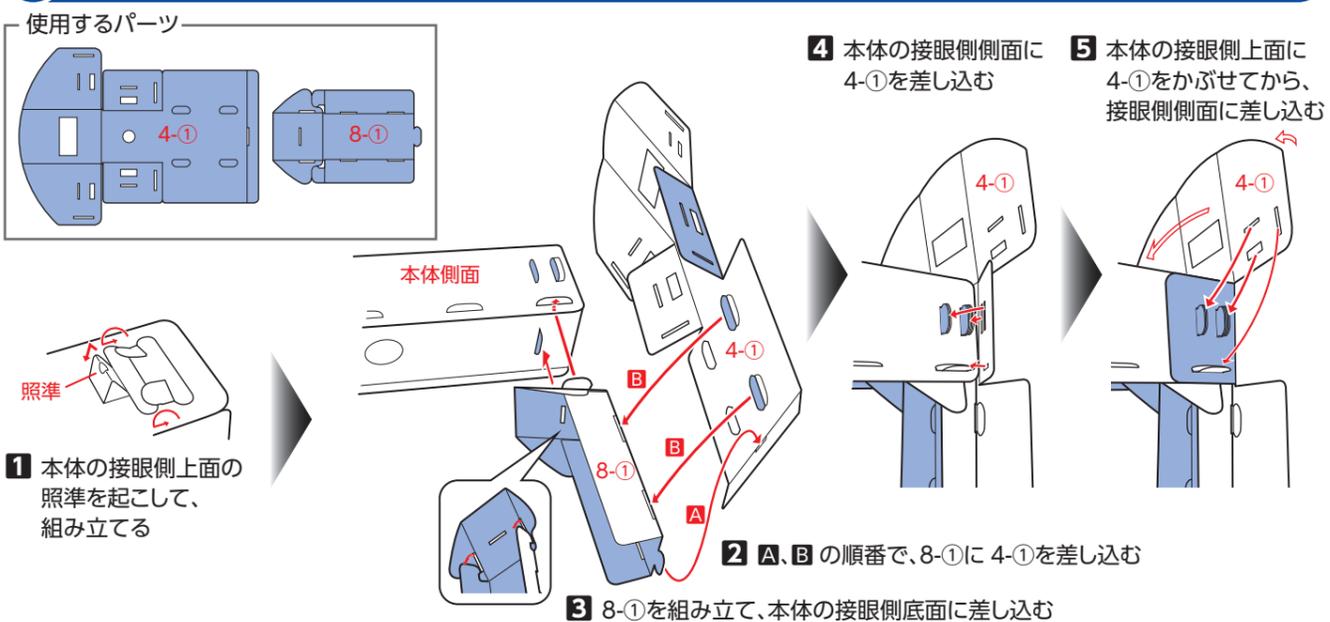
### 3 本体を組み立てる



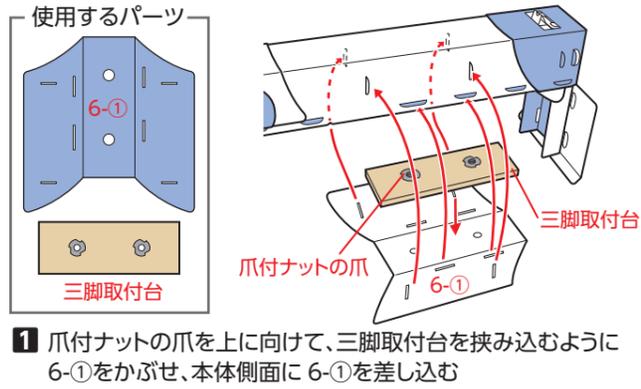
### 4 対物部にカバーと補強を付ける



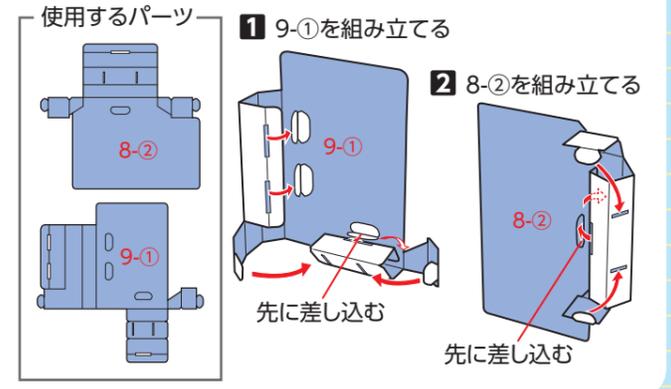
### 5 スマホ補強部を組み立てる



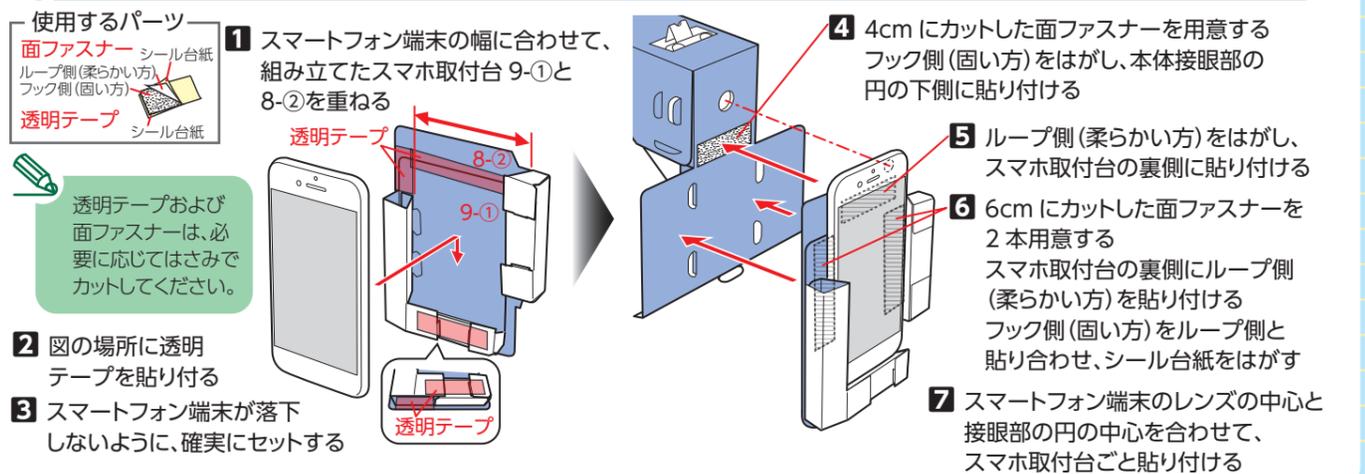
### 6 三脚取付台を組み立てる



### 7 スマホ取付台を組み立てる



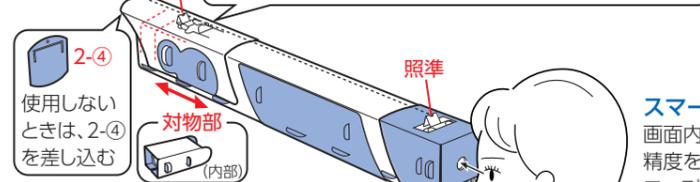
### 8 接眼部にスマホ取付台を取り付ける



## スマホ天体望遠鏡の使いかた

#### 対象物の導入方法

照準が2つとも重なる方向に対象物を導入します。

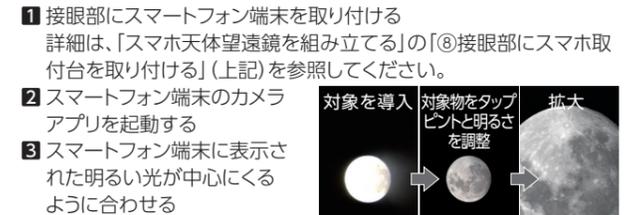


#### ピントをあわせる

対物部を一番手前まで引き、遠くの少し明るい対象に望遠鏡を向けます。目を接眼部に額が付く程度に近づけ、視野の中に対象物(見たい星など)を入れます。接眼部に顔を近づけて観察してください。対物部を前後に動かし、いちばんはっきり見える位置に合わせます。(ピントが合う位置には個人差があります。)

#### 光軸を合わせる

レンズの中心を通る対称軸を光軸(主軸)といいます。本体のレンズとスマートフォン端末のレンズの中心が一直線になるように合わせてください。



#### スマートフォン端末の画面を調整する

画面内の対象物をタップしてピントと明るさの自動調整を行います。精度を上げる場合は、AE(露出)ロック/AF(フォーカス)ロック機能を使い手動で調整します。

#### スマートフォン端末で撮影する

スマートフォン端末の自動ロック、画面の明るさの自動調整を解除してください。セルフタイマー、リモコンシャッターの使用をお勧めします。

本製品は、スマートフォン端末を取り付けて月のクレーターが撮影できます。また、三脚に固定して直接目で観察すると、土星の輪っかや木星の衛星を観察できます。※季節や時間によって変わります。